

# KANKI KCT-PP タンク

---

ポリプロピレン製コニカルタンク

## 取扱説明書

関西機械工業株式会社

京都市山科区小野西浦 38-49

TEL 075-571-9331

FAX 075-571-2721

この度はKCT-PPタンクをお求め頂き、ありがとうございます。

本製品は、攪拌用タンクとしてあらゆる条件を想定し、開発したものです。

設置して頂く前に、この取扱説明書をご精読の上、安全に正しいお取扱いをお願い致します。

本説明書は大切に保管して下さい。

また、本説明書は標準仕様の説明書です。標準仕様でない場合には別途お問い合わせ下さい。

## 特徴

- 攪拌機のシャフト・パドルを取付けた状態で着脱可能。
- ドレン口径は標準で 50A のため、スラリー液等の排出が容易。
- ユニカルタンク(底部傾斜)で 99.9%排出可能。(水におけるテスト)  
残量は本体のみで 14mL、ボールバルブ付で 25mL(水におけるテスト)
- 側面にインサートナット付。多目的な用途に使用可能。
- 本製品に取付けの弊社攪拌機(カンキミキサー)は空転可能。(テスト済み)

## 仕様

| 型式      | KCT - 50-PP      | KCT - 100-PP  | KCT - 200-PP  |        |
|---------|------------------|---------------|---------------|--------|
| タンク本体材質 | PP(ポリプロピレン)      |               |               |        |
| タンク架台材質 | PE(直鎖状低密度ポリエチレン) |               |               |        |
| 容量      | 50L(MAX60L)      | 100L(MAX120L) | 200L(MAX200L) |        |
| シール部材質  | FKM または EPDM     |               |               |        |
| 重量      | タンク              | 約 8kg         | 約 11kg        | 約 15kg |
|         | 架台               | 約 12kg        |               |        |

※詳細は、カタログ、図面をご参照下さい。

※ハンドホールは PE 製、液面計は付属しません。

使用する液温によっては(50℃以下)、オプションで液面計取付可

## 目次

|                 |    |
|-----------------|----|
| 1.検品について        | P3 |
| 2.据付時のご注意       | P3 |
| 3.部品の取付についてのご注意 | P4 |
| 4.攪拌機の据付方法      | P6 |
| 5.使用上のご注意       | P6 |
| 6.保守点検及び保証について  | P7 |
| 7.その他           | P7 |

# 1. 検品について

- 御注文の機種、規格、寸法、個数等が正しいかご確認下さい。
- 輸送中における損傷、破損がないか点検して下さい。
- 付属部品、予備品はタンク内もしくは別梱包箱にて届きますのでご確認下さい。
- 弊社では製品に対し、出荷検査に万全を期しておりますが、輸送途中において各部のボルト、ナット等が緩んでいないか点検して下さい。  
万一、異常や不備がありましたら直ちに弊社又は販売店にお知らせ下さい。
- 標準付属品リスト

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 攪拌機取付用フランジ (ボルト 4ヶ付)     | 取付済み |
| ジョイント 50A                | 取付済み |
| エアー抜き 25A (フィッティングは取付済み) | 1個   |
| タンク固定用ワッシャー              | 4個   |
| 取扱説明書                    | 1部   |

# 2. 据付時のご注意

- タンクは突起物のない平面に降ろし、立てて保管して下さい。横向きのまま放置しますと取付部品を傷つける恐れがあります。
- タンクを動かす際、落としたり鋭い突起物に当てない様にご注意下さい。
- タンクの据付基礎は水平かつ、平滑な面で全面支持にして下さい。
- 土中での埋込み使用は、土圧によりタンクが変形しますので、ご遠慮下さい。
- アンカー打ちはタンク設置後に行ってください。タンク架台はポリエチレン製ですので、1.5%程度の伸縮があり、設置前にアンカーを先打ちすると合いません。
- ケミカルアンカーをご使用の場合は、M12(旭化成製 品番:AP-12S ショートサイズ相当品)を1台につき4本ご用意下さい。
- アンカーボルトをご使用の場合は、M12×1150サイズのボルトを1台につき、4本ご用意下さい。
- アンカーボルト用ナットは付属しておりません。ご用意下さい。
- 配管終了後に水張りテスト及び水洗いをして下さい。また、液漏れがないことをご確認下さい。液漏れがあった場合は、ネジ類の緩みやシール部へのゴミ等の付着がないかをご確認下さい。

### 3. 部品の取付についてのご注意

- フィッティング、ジョイント等を取付けて出荷した場合、輸送中にナットが緩むことがありますので、必ずご確認ください。
- ボールバルブを取付ける場合、ジョイントにシールテープを巻いてねじ込んで下さい。



#### フィッティング

- 緩みのある場合は、ナットを左方向へ手で締めた後、パイプレンチ等専用治具で締めて下さい。ナットは樹脂製品ですので、締めすぎますとネジ山が破損する恐れがあります。取扱いにご注意下さい。



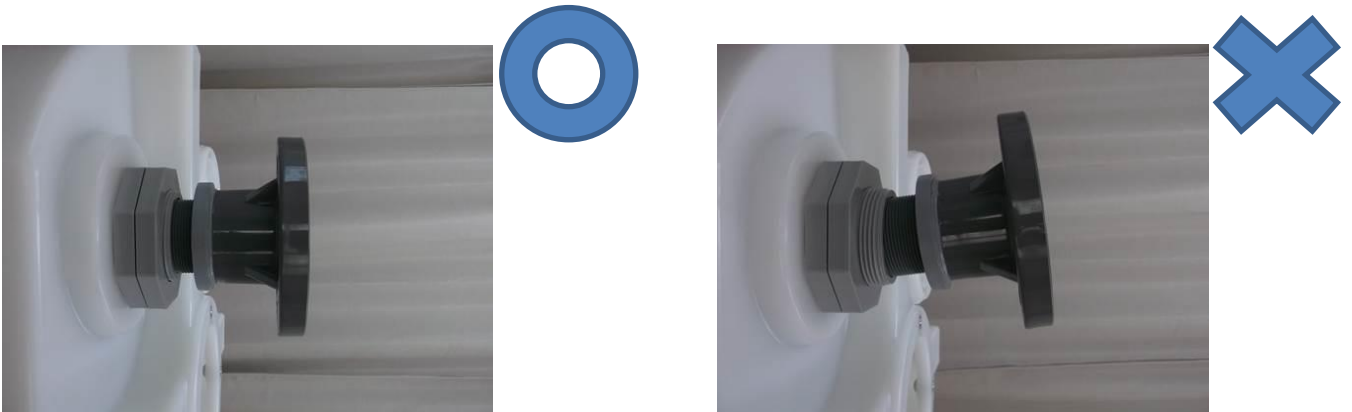
※ナットは逆ネジになっています。

- お客様でフィッティングを取付けられる場合は、タンクにフィッティングの外径より少し大きい直径の平滑な穴をあけて下さい。ホルソー、ドリル等を使ってあけることができます。弊社規格のフィッティング取付用穴径は、下記の通りです。

| サイズ       | 15A | 20A | 25A | 40A | 50A |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 取付用穴径(mm) | 34  | 40  | 48  | 65  | 75  |

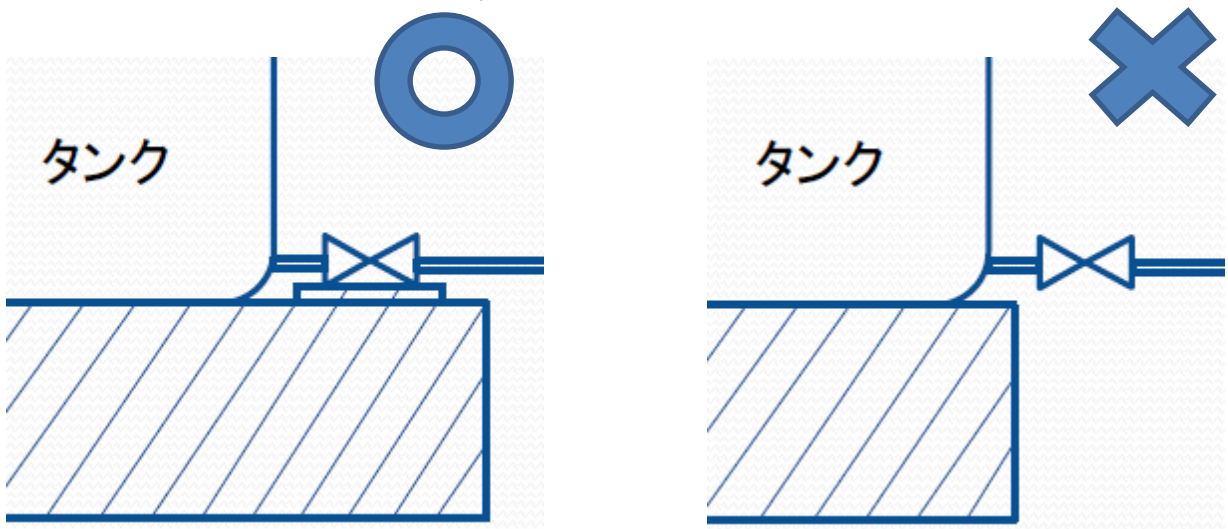
## フランジ付短管

- フランジ付短管はフィッティングに取付けて下さい。
- フランジ付短管のネジ部にシールテープを巻いて下さい。
- フィッティングの先端部に傷がないこと、内ネジに異物がないかをご確認下さい。
- フィッティングにフランジ付短管の面パッキンが全面につく様に締め付けて下さい。斜めに締めると、液漏れの原因になりますので、ご注意下さい。



## フランジ、配管接続

- 配管時、フィッティング接続部に負担がかからない様にして下さい。
- フランジ同士を接続させる場合は、両方の芯を正しく合わせて取り付けて下さい。フランジ締めつけボルトの締め具合は、全てが平均になる様に締めて下さい。
- サポート支持は、配管に負担がかからない様にして下さい。
- タンク本体はポリプロピレン製ですので、寸法公差が+2.5%、-0.5%あります。また、熱により約1%膨張します。配管、バルブ等のサポートは膨張を考慮し、配管が動く程度にゆるくしておいて下さい。



## 4. 攪拌機の据付方法

下記は弊社攪拌機(カンキミキサー)の取付方法になります。

①タンク上面から攪拌機取付フランジを取外します。(ボルト4ヶ所)

②攪拌機本体に取付フランジを付属のボルトで4ヶ所で固定します。

(ボルトは攪拌機の梱包に付属しております。)

③シャフト、パドルをセットした攪拌機をタンクに取付け、ボルトで4ヶ所固定します。

※シャフト及びパドルの取付方法については、攪拌機取扱説明書及び、攪拌機に同送しております注意書きをご参照下さい。

※シャフト及びパドルを攪拌機本体に取付ける前に、攪拌機取付フランジを取付けて下さい。

※弊社ホームページに据付方法動画を掲載しております。

## 5. 使用上のご注意

- 本製品はポリプロピレン製ですので、火気、蒸気等の高温を近づけないで下さい。ポリプロピレンの融点は約 158℃です。タンクは耐衝撃性に優れておりますが、付属品については、衝撃に強くありません。製品への落下及び衝撃にはご注意下さい。
- タンク表面が高温になる場合があります。火傷等の恐れがありますので、必要時、警告表示等の対策を行って下さい。
- 本製品は設置用として設計しております。液体を入れての移動及び移送にはご使用になれません。
- 液面計は上部が開放のため、液面上限シール以上に液を入れしないで下さい。液が溢れ出ます。目盛は目安としてご使用下さい。
- 液温は 80℃以下、液比重 1.3 以下を基準としておりますが、ポリプロピレンの高温時における薬品の影響は考慮しておりません。特殊な薬品では 80℃以下でも製品に異常が生じる場合があります。
- 同じ製品においての薬品の使い分けには十分気をつけて下さい。洗浄が不十分な場合、反応熱及び有毒ガスが発生する事もあります。
- タンクをご使用になる前は、タンク内を十分に水洗いし、完全に水を拭き取った後、使用して下さい。薬品によっては残っている水と反応して発熱し、タンクが変形、或いは溶融する恐れがあります。
- ガスが発生する液体はご使用になれません。
- タンクを使用する際は、エア抜きを開放にしてタンクに加圧・減圧がかからないようにして下さい。加圧はタンクが膨らみ破損に繋がります。また、減圧は天板の落ち込みや胴部のへこみ等の変形が起こり、破損の原因となります。弊社標準仕様は、エア抜きが付属しておりますが、何らかの理由でエア抜きがない場合、ハンドホールをあける等して、圧がかからないようにして下さい。
- 電熱ヒーターを取付けたタンクに液が入っていない場合は、電熱ヒーターの空焼運転をしないで下さい。設定温度は 80℃以上に設定しないで下さい。
- ご購入時と使用条件が変更となりますと、ご使用できない場合がありますので、弊社にご連絡下さい。

- 直射日光が当たる場所や高温雰囲気内での保管は、製品の劣化が早まる恐れがある為、ご遠慮下さい。
- 攪拌機やポンプを取付けた場合、爆発性雰囲気の中では使用しないで下さい。
- 弊社以外の攪拌機をご使用になる場合は、空転しないで下さい。

## 6. 保守点検及び保証について

- 点検の際は必ず使用している液に応じて保護具を着用して下さい。
- タンク、取付部品及び配管について、下記実施要項を参考にして、定期的に点検を行って下さい。
  - ・タンクの固定状況(アンカーボルト等)、ひび割れ、変色、変形等がないか。
  - ・ノズル、接続部から液漏れがないか。ノズルにひび割れ、変色、亀裂等がないか。
  - ・バルブのハンドルの動きがスムーズか。
- 液投入の際、ハンドホール周辺に液がこぼれる事があります。その液が液面計上部より管を伝い流れ落ち、液面計下部に液漏れが生じているように見えることがあります。漏れが生じた場合は、拭き取った上でご確認下さい。
- 保証期間  
納入日より1ヶ年と致します。
- 保証範囲  
弊社納入製品の保証範囲は、弊社製作範囲に限定します。上記保証期間中に弊社の設計、製作上の欠陥により問題が生じた場合は、無償にて代替品を納入致します。但し、次に該当する場合での損傷又は破損については、保証範囲から除外とします。尚、保証範囲であるかどうかは弊社が判断致します。
  - ① 火災、天災地変等の災害、不可抗力、仕様書及び取扱説明書に則さない目的または、ご使用により、欠陥が生じた場合。
  - ② お客様が本製品に改造や構造変更を行った場合。
  - ③ お客様において実施された対象製品の据付、保守等が不適切に行われた場合。
  - ④ 誤使用や取扱い不備、使用者の故意、不注意による場合。
  - ⑤ 取扱液により化学的腐食に起因する場合。
  - ⑥ 弊社指定品以外の部品を使用した場合。
  - ⑦ その他弊社の責任でない事由による場合。※本製品の損傷又は破損による損害、その他本製品を使用することによって生じた損害に対して弊社は如何なる種類の責任を負わないこととします。

## 7. その他

- 弊社では液面計の取替やその他修理等致しません。予めご了承下さい。
- 本製品の廃棄については、法規に従って許可を受けている産業廃棄物処理業者等に処理を依頼して下さい。
- その他、ご不明な点がございましたら、弊社までご相談下さい。その際、タンク本体に貼付しております銘板に記載の製造番号をご連絡下さい。

